

『コラボレーション技法』

第5回 場をつくる仕事:集客ビジネス最前線

ゲストスピーカー
鈴木和博さん
(乃村工藝社)

いば たかし

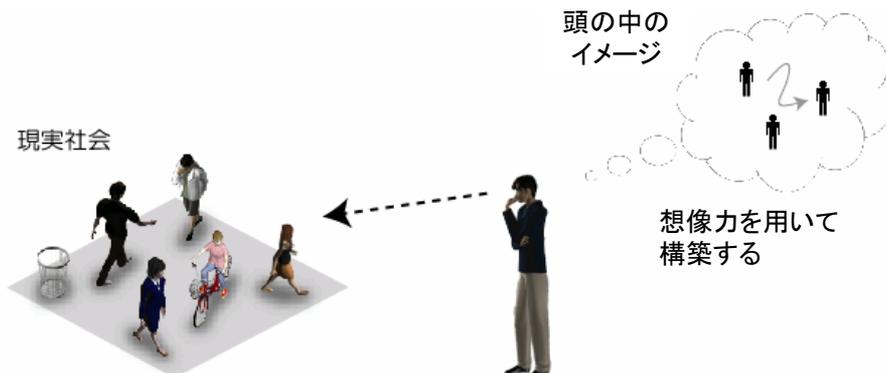
井庭 崇

慶應義塾大学総合政策学部 専任講師
iba@sfc.keio.ac.jp
<http://www.sfc.keio.ac.jp/~iba/lecture/>

人間は想像力によって現実を認識する



■ 現実をそのまま知覚しているわけではない。

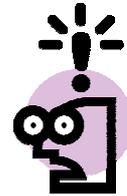


視覚、聴覚、嗅覚、味覚、体性感覚 + 記憶

わかるという感覚



- 「わかる」という体験は経験のひとつの形式
- 「わかる」の別の表現
 - 納得する
 - 合点がゆく
 - 腑に落ちる
- わかる=分ける
- 「わかる」ということは、分類基準の正しさ・正確さとは無関係。



メンタルモデル

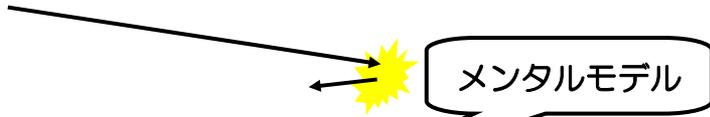


- われわれの心に固定化されたイメージや概念のことを「メンタルモデル」という。
- メンタルモデルは、どう現実をとらえるかや、どう行動するかに影響を及ぼす。
- メンタルモデルは普段は意識されない。

メンタルモデル



メンタルモデルに合わないとう理解できない



メンタルモデルが違とう理解し合えない



メンタルモデルのすりあわせ



メンタルモデルを変えるには。



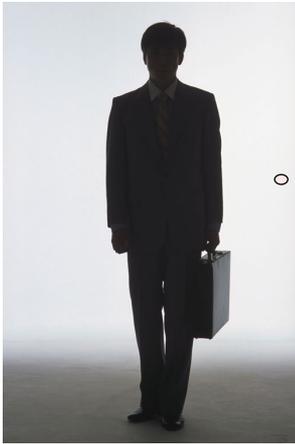
■メンタルモデルは、「対話」を通じて変化する。

■どのような方法で行えばいいのか？

- ヴィジョン
- シナリオ
- 類似のものの体験
- プロトタイプ
- イメージ・映像



二種類の知識



形式知

言語によって表すことができる知識。
容易に伝達できる。

暗黙知

人間一人ひとりの体験に根ざす個人的な知識。他人に伝達して共有することは難しい。

- ① ノウハウ
- ② メンタルモデル

場の共有

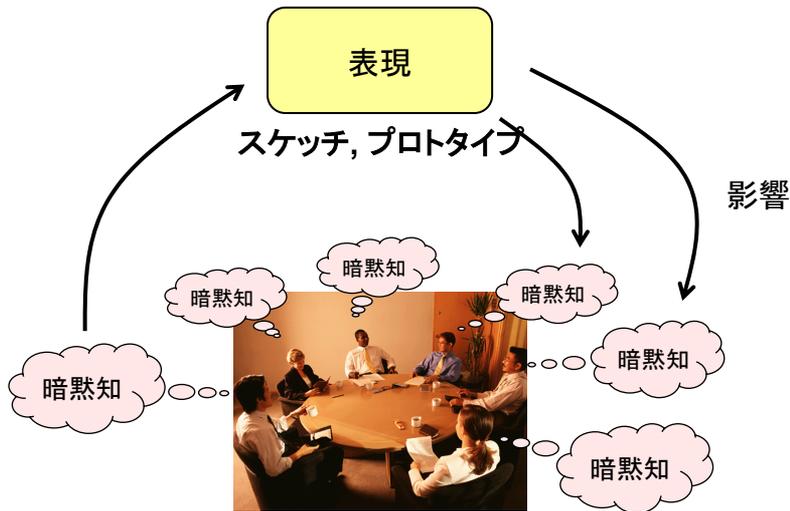


暗黙知

暗黙知



スケッチやプロトタイプによるイメージの共有



ゲストスピーカーの講演

鈴木和博 さん

乃村工藝社

ネットワークコミュニケーションセンター

SFC-OB 1期生

今日の宿題(第5回)

- チーム提出宿題: チーム名を考えよう!
 - チームに、キャッチーで面白い名前をつけよう。
 - collab-submit@sfc.keio.ac.jpまでメールで提出
 - メールのは件名は「チーム〇〇の名前」
 - チーム番号を入れる
 - 5月24日(月)夜23:00まで

- 個人提出宿題: 今日の講演の感想
 - collab-submit@sfc.keio.ac.jpまでメールで提出
 - メールのは件名は「collab-hw5」
 - この感想は、ゲストスピーカーの方に転送します。
 - 5月24日(月)夜23:00まで